



IRより、愛ある大阪府政へ

7月29日、大阪府議会臨時会が開催され、府民の直接請求で提案された「大阪府におけるIR誘致の賛否を問う住民投票条例制定」について審議がなされました。

有権者の1/50の署名が必要な直接請求は、府全域を対象にするような大きな範囲で行われた例はほとんどなく、大阪府では実に45年ぶりとの事です。必要な署名数約14万6千筆を大幅に上回る約20万筆が集まったこの直接請求は、しかしたった数時間の臨時議会で維新・公明の反対により、あっさりと否決されてしまいました。カジノを核としたIR計画について、府民にその是非を判断させて欲しいとの住民投票を求める声が届かなかったことは本当に残念です。

そもそも、大阪IR・カジノ計画は、①当初は海外からの観光客で稼ぐ想定が、来場者の多くは日本人の計画に変更されている、②788億円もの公金の投入がすでに決定されている、③新型コロナで大きく変わった世界的な社会情勢が反映されていない、など収支計画が杜撰で、大阪の成長の起爆剤どころか、大きな負の遺産となりかねず、私も反対の声を上げてきました。

夢洲をめぐる軟弱地盤の問題や、淀川左岸線の工期が大幅に遅れ2025年の大阪・関西万博には到底間に合わないなど、次々と課題が噴出しています。ベイエリアを埋め立て、高層建築物を建て、大きな道路開発を行う、こう言った20世紀型の開発モデルに頼る大阪の経済発展を今こそ見直すべきです。

今回、提出された約20万筆もの署名は、大阪IR是非を問うもので、賛否の立場を越え、大阪府議会が府民の声に耳を傾けることは当然の責務であったと考えます。それを「府議会ですでに決まった事」と門前払いにするような審議のあり方は、住民自治や民主主義に背を向けるものです。

知事と同じ政党が単独過半数を占める府議会では、違った意見に耳を傾ける事や、結果に至るまでの過程が、ないがしろにされています。

立場や意見の違いをじっくりと調整する議会、住民自治を実現できる大阪、愛ある大阪を目指し、引き続き頑張ってください。

大阪IRの問題点！
詳しくはこちら



<https://www.nonoueai.net/post/20220324b>

大阪の観光に
カジノは
不要!

伝統文化地域力を生かし、景気回復を

民意は「IR・カジノ」
どちらともいえない、
わからない

賛成 11%
反対 52%
反対 37%

反対!

夢洲整備をめぐり

790億円
IR予定地土壌汚染対策

756億円
阪神高速土壌汚染対策

96億円
メトロ延伸・障害物撤去

33億円
夢洲駅増設など

30億円
夢洲駅前広場整備

1,700億円以上の経費増が!

33億円
警察力強化(340人)

4億円
消防力強化(40人)

14億円
依存症対策

4億円
まちづくりインフラ

カジノのために
毎年
必要な経費は約
55億円



菅直元総理(写真中央)らとともに
夢洲IR用地を視察する野々上(写真左)



2022 年夏の会派要望提出

2022 年夏の会派要望を吉村大阪府知事宛に提出しました。毎年、夏と冬の2回提出する会派要望は、各担当部局から文書で回答がある、議会質問と同様に重要な取り組みです。府政全般について取り上げた要望書の中でも特に下記について重要政策として取り上げました。

新型コロナウイルス対策

国が新型コロナ新規陽性者の全数把握を希望する都道府県は行わなくて良いとする方針を出し、大阪府も近く全数把握を取りやめる見込みです。しかし全国最悪の新型コロナ死亡者を出している大阪府、感染状況を把握するなどの基本的対応は重要です。全数把握停止についての慎重な対応と感染状況を把握する代替策の導入を求めました。

飲食店営業時間短縮協力金

1年以上続いた飲食店への時短要請で、大阪府だけで実に8300億円もの協力金が支払われています。適切に予算が執行されたかのチェックも重要ですが、本来制度の対象となった事業者が手続きの不備などにより支給されず事業に深刻な影響を及ぼしている例もあり、私も数々のご相談をお受けしています。他府県でも行われている再申請の受付や不服申し立てに対する真摯な対応を求めました。

大阪府の高校再編は見直しを

今年も3校の府立高校の廃校方針が発表されました。大阪府学校条例は、府立高校が3年連続で定員割れした場合、募集停止にするので、地域で学ぶ場所が子ども達から奪われ続けています。再編整備の名の下の行き過ぎた府立高校つぶしはやめるべきと求めました。

その他、府政全般にわたり32項目について要望しました。



同会派の山田府議と共に、要望書を政策企画部次長に手交。



委員会報告 警察常任委員会

2021年度は警察常任委員会に所属しました。他の委員会と少し雰囲気が違う委員会で戸惑うこともありましたが、警察行政について、道路や安全対策について質問をしました。

大阪府では交番最適化計画を策定し、向こう10年でおおよそ1割の交番を削減する方針を出しています。高槻署管内でも交番が廃止されることになります。交番廃止により地域の治安が悪化しないこと、また警察官の削減は行わない事などを求め前向きな答弁を得ました。

交番削減の一方で、カジノを誘致しようとしている夢洲には340人規模の警察署新設の計画もあります。そんな中での交番削減は、府民理解を得る必要があります。

他にも消えたままになっている横断歩道や停止線などの速やかな補修体制の構築や、信号機がなく環境にも配慮した環状交差点、ラウンドアバウトの大阪での整備方針などを確認しました。



インターネット会議録案内

質問の全文、また他の質問項目は大阪府議会ホームページ議事録検索からご覧いただけます。

大阪府議会 会議録

検索

ののあい活動報告

大阪コロナ大規模医療・療養センター視察

新型コロナ感染拡大に対応すべく、鳴り物入りで開設された大阪コロナ大規模医療・療養センターを視察。84 億円もの国費を投じて、1000 床の軽症・中等症者向けの施設が整備されましたが、利用者は 1 日最大 70 名、累計 300 名にとどまり、大失敗に終わりました。未曾有の感染症に対応する中で失敗する事もありますが、きっちりとした検証と再発防止の議論が重要です。



インテックス大阪に開設された大規模医療療養センターを吉村府知事らと共に視察。壁は薄く、天井は筒抜け。このあたりも利用が低調に終わった原因か。

大阪府の昆虫ビジネスを見学

大阪府羽曳野市にある、府立環境農林水産研究所を視察。独立法人化を遂げてから民間との共同研究も盛んに行われるようになり、そんな一つであるアメリカミズアブの研究プラントを視察しました。近年では“昆虫食”もブームの兆しですが、食料残渣をアメリカミズアブに処理させ、アメリカミズアブ自身もタンパク源として魚の餌などに活用するという食品リサイクルループの確立を目指す研究は、今後心配される食料不足に対応する鍵となるかもしれません。



大規模な農場も併設された環境農林水産研究所



食品残渣を処理したアメリカミズアブの加工品

有田芳生さんとウトロへ

昨年は関西で“ヘイトクライム”が相次ぎました。大阪でも東大阪の韓国民団事務所にハンマーが投げ入れられる事件が発生しています。長年ヘイトクライム、ヘイトスピーチ問題に取り組んで来られた有田芳生参議員議員（当時）と放火被害にあったウトロ地区を視察、現地のみなさんのお話をお聞きしました。大阪府としてもヘイトスピーチ、ヘイトクライムは許さない、という毅然とした態度を示す時です。

倉庫や空き家 7 棟が燃えたが、隣接する現住家屋も被害に。



有田芳生さんと。韓国セウォル号沈没事故の高校生生存者が寄せた連帯のメッセージアートの前で。

ギャンブル依存症啓発週間シンポジウムで登壇

5 月のギャンブル依存症啓発週間にあわせて開催されたシンポジウムにパネリストとして登壇しました。

「カジノが来ても大丈夫？～大阪のギャンブル依存症対策の現状～」と題し、維新・公明・自民・共産・立憲の 5 会派から府議会議員が大阪府のギャンブル依存症対策や、2029 年にも開業するとされている大阪 IR カジノの問題について議論しました。

現状の大阪でもギャンブル依存症は深刻な社会問題です。そこに“依存症になるほど多くの掛け金を払ってくれるお客さん”を前提として儲けが出ることになっている大阪 IR カジノが開業することはもったいなく、



府議会 5 会派の代表が登壇。右端が野々上。

議員を減らすと改革？

現在、定数 88 議席の大阪府議会が、来年の統一自治体選挙から 79 議席へと減らされることが今年 2 月の議会で維新・自民・公明の賛成多数で決まりました。高槻・島本も現在の定数 4 名から 3 名に減ることになります。

これにより大阪府議会は全国で「人口当たりの議員数が日本一少ない」議会になるとのことです。果たしてこれが改革なのでしょう。

大阪府議会は定数の少なさをすることながら、

選挙区から 1 人しか選ばれない 1 人区率の高さも全国で群を抜いています。少数政党の議員は当選しづらく、また女性議員比率も 6% と極端に少ない状況を招いています。(参考；東京都 31.7%、京都府 22%)

地方議会は二代表制です。知事の意見を追認するだけの議会ではなく、長引くコロナ禍の今こそ、小さな声、多様な意見が反映される府議会を取り戻さなければなりません。小さなことからコツコツと！地域のみなさんの声を受けて前に進んで行きます。

イベント案内

ののうえ愛府政報告会

10/23 (日) 14 時～ (予定)

ののうえ愛と大阪を語ろう会

クロスパル高槻 702 会議室にて
(高槻市立総合市民交流センター)

大阪府議会議員として最初の任期がまもなく終わります。新型コロナ対策や、大阪カジノ問題、2 度目の都構想住民投票に基礎自治体支援策の課題など、ののうえ愛が取り組んできた活動をご報告します。

お知らせ

ののあい スペース



だいたい毎日 20:45 から
大阪の最新情報をお話します

SNS の Twitter のスペース機能を使って、ほぼ毎日 20:45 から 15 分程度、ののうえ愛が最新の大阪府政情報についてお話しします。お時間のある時にどうぞ視聴下さい。

@nonoueai

ののうえあい*1977 年高槻生まれ

阿武野幼・小・中、三島高卒。関西外大短大卒、龍大法を経て、同志社大院で住民投票条例を研究。2003 年より高槻市議 (4 期)。副議長、監査委員などを歴任。若者の政治参加、環境、交通政策、子育て支援や市民参加などに取り組む。脱原発、安保法制反対、大阪都構想反対運動など、平和・非戦・自治をめぐる市民運動にも積極的に参画。2019 年、高槻・島本選挙区から大阪府議に初当選。民主ネット大阪府議会議員団代表、環境農林水産常任委員会所属。現在議員活動と 2 児の育児、親の介護に奔走中。

発行 大阪府議会議員ののうえ愛事務所

〒569-0071 高槻市城北町 1-5-23

エクセレント城北 1F

TEL 072-669-7790

FAX 072-669-7794

Mail info@nonoueai.net

Web www.nonoueai.net/

ブログ更新中



@nonoueai



@nonoueai



事務所のご案内

ののうえ愛事務所がエクセレント城北ビル 2 階から 1 階へお引越ししました。まだまだ新型コロナも心配な折ですが、みなさんと膝を交えてじっくりと話すことが出来る事務所を目指します。どうぞお気軽にお立ち寄りください。